

学 校 名	瀬戸市立品野中学校		
派 遣 日 時	令和 5年 10月 27 日( 金 ) 14時00 分 ~ 16時00分		
対 象 者	中学2年生(79名)・教諭(6名)	派遣時間	120分
外 部 講 師	公立陶生病院 がん診療部次長 澤田憲朗		
設 定 場 面	保健講座		
テ ー マ	知っておこう、がんのこと ~大切な命を守るため~		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんについて正しく理解することができるようにする。</li> <li>・がんを身近なものとして捉え、予防のために自分は何をするべきか考える。</li> </ul>		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>電子メールにて、講師と打ち合わせし、事前準備にあたった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せは、日程調整、対象生徒、会場準備について</li> <li>・事前に、講演のプレゼンデータと、生徒に配付する資料が送付された。</li> </ul> <p>講師より、生徒用の資料は、講演後に配付するよう指示があった。</p> <p>【当日の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① がんとは何か <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な体に何が起るとがんになるのか</li> <li>・がんが起るしくみ</li> </ul> </li> <li>② できるだけがんにならないための話：予防 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つのことに気をつける健康習慣(たばこ、酒、運動、体重、食事)</li> </ul> </li> <li>③ がんになっても治るための話：早期発見、早期治療 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診を定期的に受けることの大切さ</li> <li>・まわりの大切な人にも検診をすすめる</li> </ul> </li> <li>④ もしものときの話：身近な人ががんになったとき <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんになった人が困ること(体のつらさ、心のつらさ、くらしのつらさ)</li> <li>・どう接するか、どう声をかけるか、何がしてあげられるか</li> </ul> </li> </ol>		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事前、事後アンケート結果より、がん学習の重要性やがん検診の大切さが理解できた生徒、予防に対する意識が高まった生徒が増えた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ</li> <li>「そう思う」と回答した生徒：授業前→79.2% 授業後→91.5%</li> <li>・日頃から、バランスの良い食事や、適度に運動するなど健康な体づくりをしようと思う</li> <li>「そう思う」と回答した生徒：授業前→51.9% 授業後→78.9%</li> <li>・がん検査を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う</li> <li>「そう思う」と回答した生徒：授業前→49.4% 授業後→66.2%</li> <li>・がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う</li> <li>「そう思う」と回答した生徒：授業前→45.3% 授業後→67.1%</li> <li>・長生きするために、健康な体づくりに取組もうと思う</li> <li>「そう思う」と回答した生徒：授業前→69.7% 授業後→85.9%</li> </ul> </li> <li>② 事後の生徒の感想には、「生活の見直し」「生活習慣や食生活や生活習慣に関する予防方法」が具体的に記述できた。また、がんに対して「怖い」「治らない」「自分には関係ない病気」と思っていた生徒も、がんとは身近な病気であることを理解し、自分は何をするべきかを考えることができた。</li> <li>③ 1か月前に、保健体育の授業でがんについて学習した。生徒の感想から、授業で学んだことが、このがん教育で再確認でき、知識の定着を図ることができた。2年生のこの時期に実施できたことは、より有効であった。(体育担当者より)</li> </ol> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の予防意識がより高まるよう、掲示物やほけんだよりを活用し、がんに関する情報(たばこの害、生活習慣など)を発信していく。</li> </ul>		

成果・感想

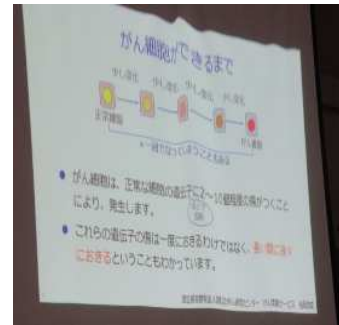
【感想・写真等】

① 職員の感想

- ・がんは、誰もがなりうる病気である。がんにならないようにするためのことや、もしなってしまったらどうするかを、若いときから考えておくことが大事だと実感した。
- ・中学生のこの時期に「がん教育」をなぜするのかを分かりやすく説明されたので、がんが身近なものとして、また、対処できないものではなく治すこともできるものとして認識することができた。
- ・がん患者と、共に生きるためにどうすればよいのかを考える機会になったと思う。

② 生徒の感想

- ・がんは、死ぬのを待つ病気だと思っていた。早期発見し治療すると、治ることもあると知り、安心した。大人になったら、がん検診に行き早期発見できるようにしたい。
- ・適度な運動や食事などの生活習慣が関わっていることが分かったので、今までの生活習慣を振り返り、これからどう過ごすかよいのかを考えていきたい。
- ・母が高血圧のため、塩分に気をつけた食事をしている。私も母が作った食事をしている。これからも、今のような食生活を、私は続けようと思った。
- ・今は若いから、がんには関係ないと思っていたが、今の生活習慣が将来に影響すると知り、気をつけなくてはと思った。
- ・たばこは、吸う人よりも副流煙の方が有害であることを知り、びっくりした。私は絶対にたばこを吸わないと決めているので、吸っている人や煙には気をつけて過ごしていこうと思った。
- ・親がたばこを吸うので、少しでも本数が少しでも減るよう説得したい。やめさせなくてはと思った。



学 校 名	豊田市立浄水中学校		
派 遣 日 時	令和 5年 12月 7日(木) 13時15分 ~ 14時00分		
対 象 者	中学2年生(212名)・教諭(12名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	豊田厚生病院 血液内科病棟医長 原田靖彦		
設 定 場 面	保健集会		
テ ー マ	がんという病気について考えよう		
ね ら い	がんという病気の原因や起こり方を知り、早期発見と望ましい生活習慣が大切なことや、成長期により生活習慣を身に付けておくことが大切なことを理解する。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】 事前アンケートをグラフ化し講師の先生にお伝えした。また、それをもとにアンケートの一部をプレゼン資料にまとめたものもお渡しし、講義の参考資料としてもらった。 がん教育の前に、保健体育科で「生活習慣病の予防」の授業を実施した。</p> <p>【当日の概要】 司会進行は、保健委員会の生徒が実施した。最初に、がんに関する意識調査をまとめたものを、生徒が発表した。その後、医師から、がんの原因や病気の起こり方、早期発見が大切なことやがんの治療、がん患者の理解、がんのリスクを減らすためには、自分たちはどのようなことに心がける必要があるのかについての講話を聞いた。終了後、事後アンケートとがん教育を受けた感想を学級でまとめた。</p>		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】事前・事後のアンケート比較より ・がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ(そう思う)65%⇒92% ・将来、たばこは吸わないでいようと思う(そう思う)84%⇒90% ・日頃からバランスのよい食事、適度な運動などに取り組もうと思う(そう思う)63%⇒84% ・がん検診を受けられる年齢になったら受けようと思う(そう思う)49%⇒82.5%</p> <p>【今後の取組予定】 HPやほけんだより、学年だよりで、がん教育の様子を保護者にお知らせした。また、掲示物にまとめ、全校にも広報する予定である。今後は、思春期教室などの、性教育・いのちの授業につなげていきたい。</p> <p>【感想・写真等】 がんは今まで私が思っていたより、もっと、身近で誰もがかかりうる病気であることが分かりました。しかし、健康的な生活習慣と定期的な「がんの検査」によって防ぐことができることも分かったため、健康で長生きするために、今からできることをしたいと思いました。また、がんを恐ろしいものだと思うだけでなく「恐ろしいのはどうしてか」「どうして起こるのか」「どうやって治すのか」などをしっかり学ぶことが大切だと思いました。 今や、2人に1人は罹ると言われている「がん」だからこそ、しっかりと予防して常に備えておくことが、大切だと思いました。</p>		

学 校 名	豊田市立高岡中学校		
派 遣 日 時	令和 5 年 12 月 13 日(水) 14 時 10 分 ~ 14 時 55 分		
対 象 者	中学2年生(128名)・教諭(10名)	派遣時間	45分
外 部 講 師	藤田医科大学病院 医師 河田健司		
設 定 場 面	学校保健集会		
テ ー マ	望ましい生活習慣を身につけてがんを予防しよう		
ね ら い	がんについての正しい知識を理解する。 適切な生活習慣やがんとの向き合い方、生き方について理解する。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>講師へは、中学2年生の保健体育でがんの基礎知識を学んでいるということを伝え、がんに関する正しい知識やがんとの向き合い方、生き方、よりよく生きるための健康管理について学ぶ時間にしたいとお願いした。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>講話の内容(パワーポイント使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんができる仕組みや原因、がんの治療について</li> <li>・がんの原因の1つである生活習慣について(クイズを交えて詳しく、運動、喫煙、食生活について)</li> <li>・がん検診について(早期発見の重要性)</li> <li>・がん患者への関わり方(苦しみを理解しようとする努力、周りの人の支えが大切)</li> </ul>		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <p>授業前後のアンケートの変化をみると、生活習慣の改善や健康な体づくりについての意識が高まっている。また、がん検診の重要性や、がん患者への関わり方の理解ができたようだ。</p> <p>生徒の感想には、生活習慣についての記述が多く、より良い生活習慣への取り組みを期待するとともに、保健指導や掲示物などで引き続き啓発していきたい。</p> <p>【生徒の感想・写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんは誰でもなってしまうことがある病気であり、がんの危険性について理解できた。生活習慣からでも予防できるということも知れたので、質のいい生活を送るように心がけたい。</li> <li>・自分の体型を気にする年ごろだけど、たくさん食べて運動して規則正しいバランスのとれた生活を意識していきたい。</li> <li>・今日学んだことを家族に伝えて、みんなで健康な生活をしてがんの予防ができたらいいなと思った。</li> <li>・講演を聞く前は、がんはあまり治らない怖い病気だなと思っていたけど、話を聞いて早期発見をして治したり、適度な運動をすると予防になることを知って少し安心することができた。</li> <li>・日本人の死亡率第1位であることから、がんの発見時に「死ぬのかもしれない」という恐怖に襲われている人もいることがわかった。講演を通して、もし身の回りの人ががんになったらその人の気持ちを理解して寄り添ってあげたいと思った。</li> <li>・定期的に検診に行くことが大事だと分かった。家族に定期的ながん検診を勧めたい。</li> <li>・お母さんががんになってしまっているので、困ったことがあったら支えあったり、がんについて話し合ったりしたいと思った。</li> <li>・がんになった人の周りの人は、理解しようとするのは難しいが寄り添おうと思う気持ちが1番大切だとわかった。</li> <li>・もし家族や友達ががんになったら、心のケアをしたり、心の支えになりたいと思った。</li> </ul>		